

受講生の受入の方針、受入方策等

【受講生の受入の方針】

高齢化の進展や世帯構造の変化のなかで、介護ニーズが多様化し、より質の高い介護サービスが求められています。そのような介護サービスの中心的な担い手となる人材育成を図るため、必要とされる知識・技術を有する質の高い介護福祉士の養成を行うため、介護福祉士実務者研修課程を開設しました。

働きながら、介護福祉士資格取得をめざす人を対象にしているため、介護福祉士の前に良き社会人の集まりとしたく、また、学ぶ意欲に応えるため、面接授業において、学ぶ意欲の阻害要因を排除するために、「面接授業ルール」を規定しています。

入学に際し、この趣旨を理解いただき、学則、面接授業ルールを順守できる人かどうかを判定して、受け入れます。

【受入方策】

学則第 8 条から第 17 条を厳正、公平に遵守して受け入れます。

以上

面接授業ルール

1. 面接授業普通教室、演習室では携帯電話の電源を切るか、マナーモードにする。
 2. 面接授業普通教室、演習室では携帯電話を使用しない。
 3. 試験等(ミニ試験・医療的ケア演習の手順確認を含む)が指定された時間は、携帯電話を含む私物を指定された場所に移動しなければならない。
 4. 面接授業普通教室、演習室では私語(※1)を慎む。講師から 3 回、注意された場合は、教室、演習室から退出しなければならない。(時間によって、早退、欠席となる。)
- ※1 講師が、演習等で討議等指示した場合のほか、受講生は講義中、挙手して講師から発言の許可を受け話さなければならない。それ以外は私語と看做す。
5. 面接授業普通教室、演習室では居眠りをしてはならない。講師から 3 回、注意された場合は、教室、演習室から退出しなければならない。(時間によって、早退、欠席となる。)
 6. 介護過程Ⅲの面接授業は、介護の基本Ⅰ、Ⅱ、介護過程Ⅰ、Ⅱの通信課程の科目修了評価を、また、医療的ケア演習の面接授業は、医療的ケアの通信課程の科目修了評価を受けていなければ、受講することはできない。

以上

以上